



白球を追いかけた夏の思い出

三本木中野球部が全国大会3位

8月19日から22日まで岡山県倉敷市で開催された第32回全国中学校軟式野球大会に出場した三本木中学校（石川誠校長）野球部が健闘し、3位を獲得しました。全国大会には地方大会を勝ち抜いた24校が出場し、連日35度を超える猛暑の中、熱戦が繰り返されました。全国大会という環境で選手が緊張する中、初戦突破を目標にしていた三本木中は、1回戦を1対0で勝ち抜くと、続く2回戦では勢いに乗り5対0の圧勝。さらに3回戦の準々決勝では4対0と3試合連続で完封試合を展開しました。迎えた準決勝では中盤までリードしつつも惜しくも2対3で涙のみでした。キャプテンを務めた3年生の小笠原辰樹くんは「選手全員が力を合わせて勝ち取った3位。でも、もう少し



「チームのために」を合言葉に3位のメダルを手にした選手たち

で優勝旗に手が届きそうだったので残念です」と話していました。

今回初めて全国大会に出場した選手たちは、行進や態度など野球以外の面でも高い評価を受けており、監督や保護者の皆さんは結果以上に日ごろの取り組みを認められたことが大きな喜びと口を揃えて話していました。

青森ねぶたや秋田竿燈など北東北の祭りが結集

61,000人が酔いしれた十和田湖国境祭

9月4日・5日、十和田湖畔休屋地区で十和田湖国境祭が開催されました。このイベントは県境に位置する休屋地区を舞台に青森ねぶたや八戸えんぶり、秋田竿燈、大湯大太鼓、盛岡さんさ踊りなど北東北三県を代表する祭りが結集するものです。

祭りは昼の部と夜の部の二部構成で行われ、出演者は商店の通りを練り歩いた後、1,600人収容の特設会場に移動し、威勢の良い掛け声とともにそれぞれの祭りを披露しました。市内からは市指定文化財の沢田鶏舞や晴山獅子舞、南部駒踊が出演し、沿道や特設会場の観客からたくさんの声援や拍手が送られていました。

今回の国境祭は12月4日の東北新幹線全線開業を記念して9月8日から15日までをエコウィークと位置づけ、休屋地区で電気自動車の試乗、乙女の像や隠れスポットをめぐるガイドウォーク、自然木を使ったクラフト体験が行われ、観光客は自然環境について関心を寄せていました。



沢田鶏舞

晴山獅子舞

南部駒踊



国境祭の魅力はねぶたや竿燈などの合同運行

県消防操法大会小型動力ポンプの部 市消防団第4分団が優勝

8月24日、青森県消防学校で開催した第26回青森県消防操法大会小型動力ポンプの部で市消防団第4分団（中川原善光分団長）が優勝しました。

小型動力ポンプの部には8地域の消防団が出場。競技は5人一組で指揮者の合図に合わせて動力ポンプにホースをつなぎ、的をめがけて放水し、撤収するまでの動作やタイムを点数で競い合いました。市消防団は93.0点を獲得し、2位に2.5点の差をつけて優勝しました。今後は11月12日に愛知県蒲郡市で開催される第22回全国消防操法大会に出場します。



全国大会に出場する第4分団の皆さん

全国高総体アーチェリー選手権女子団体の部 三農アーチェリー部が32年ぶりの

8月2日から4日まで沖縄県宜野湾市で開催した全国高等学校総合体育大会アーチェリー選手権大会で女子団体戦に出場した県立三本木農業高校（遠藤智久校長）アーチェリー部が優勝しました。

アーチェリー競技は70m先から直径122cmの的に矢を射て得点を競うもので、決勝戦では240点満点中191点を獲得し、32年ぶりとなる2度目の優勝を果たしました。選手の皆さんは「全国制覇できてうれしい。応援してくれたすべての皆さんにお礼したいです」と笑顔で話していました。



選手と顧問の先生が小山田市長に喜びの報告をしました

リコーサイエンスキャラバン コピー機で科学の面白さを学ぶ

9月5日、南公民館で市青少年発明クラブが主催するリコーサイエンスが開催されました。この事業は株式会社リコーの技術者が全国の子どもたちにコピー機の実験や画像処理技術を使ったゲームをととして科学の面白さを伝えるものです。会場には70年前のコピー機のしくみを体験できるコーナーが設置され、子どもたちは自分の書いた絵が複製されるまでの作業を学びました。また、コピー機とパソコンを組み合わせ、自分の書いた怪獣の絵でみんなが対戦するコーナーも設けられ、ゲーム感覚で科学の面白さを体感しました。



コピー機のしくみを学ぶ子どもたち

YAYOI NIGHTで草間彌生になろう！ ハナコちゃんと一緒に盆踊り

Arts Towada グランドオープン記念「草間彌生 愛はとこしえ十和田でうたう」展のフィナーレを飾る「三本木小唄 YAYOI NIGHT」が8月28日、アート広場で開催されました。このイベントは、昨年現代美術館前の広場で開催した盆踊りの趣向を変えて、今年は前衛芸術家の草間彌生になって盆踊りを楽しむものです。参加者は草間さんをイメージしたオレンジ色に輝くかつらを着用して、草間さんの作品のハナコちゃんやきのこなどの作品を囲んで踊ったり、友人同士で写真を取り合ったり楽しいひと時を過ごしました。



アート広場で盆踊りを楽しむ参加者